

各 位

2012年2月1日  
株式会社サイバー・ソリューションズ

**NetSkateKoban®の検疫ネットワークアプライアンスとの連携モジュールをリリース  
(サイバー・ソリューションズ、日立電線ネットワークス、丸紅情報システムズが協業)**

株式会社サイバー・ソリューションズ（以下、CySols社）（代表取締役社長：キニ グレン マンスフィールド）と、日立電線ネットワークス株式会社（以下、HCNET社）（代表取締役社長：菊地原 宏）は、丸紅情報システムズ株式会社（以下、MSYS社）（代表取締役社長：小川 和夫）の起案により、新しい検疫の仕組みとしてCySols社製不正接続端末検出・通信遮断システム「NetSkateKoban®」と、HCNET社製の検疫ネットワークアプライアンス「QuOLA@Adapter®」を連携する「QuOLA連携モジュール」を開発し2012年2月1日にリリースします。

本モジュールにより連携したシステムでは、企業内LANに接続したPC・サーバ・スマートフォン・タブレット等の端末MACアドレス情報と、セキュリティ検査（検疫）情報による複合的な接続認証が可能となり、ウイルス感染、情報漏えい、不正アクセス等のより強力な防止策として活用できます。

NetSkateKoban®の確実な不正端末の検知/遮断機能と、QuOLA@Adapter®の詳細なセキュリティ検査機能とのシンプル、且つシームレスな連携により簡単に強固なセキュリティ対策を構築することが可能です。

また、NetSkateKoban®は詳細なネットワーク接続監視/可視化を行いますので、万一、ポリシー違反端末を検知した場合、その端末の遮断と同時に接続先特定や過去の接続実態を視覚的に確認できます。

■QuOLA連携モジュール

- NetSkateKoban®のモジュールとしてセットアップ
- 端末接続時のQuOLA@Adapter®への通信強制誘導
- QuOLA@Adapter®からの検疫完了による誘導解除指示を受け、端末のネットワーク利用を許可

■NetSkateKoban®-QuOLA@Adapter®連携の特長

- MACアドレス認証と端末セキュリティ検疫の両機能を統合し、従来よりも高いセキュリティレベルでの接続認証を実現
- 検疫ネットワークアプライアンスと不正接続端末検出・通信遮断システムそれぞれの管理情報を連携し一元管理が可能

■動作概要

端末の接続を検知すると、検知した端末の通信を全てQuOLA@Adapter®へ誘導して検疫を実施させます。そして、検疫が完了し、かつ事前に接続を許可した端末のみ遮断と誘導を解除しネットワーク利用を可能とします。なお、通信を許可していない端末はネットワークの通信を始めることができません。また、一時的利用のために限定した通信を許可する設定も可能です。

